



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

イラク：第3回アラブ・サミット開催に向けた動き

(22日付サバーハ紙)

イラクのサバーハ紙（22日付）は、3月にバグダードにて開催予定の第3回アラブ・サミットに関して報じている。

1. 20日にエジプトのシャルム・エル・シェイクで開催された第2回アラブ経済社会開発サミットの合間に、イラクのタラバーニー大統領は同サミットの参加者と会談を行い、多数のアラブ指導者からバグダードにおけるアラブ・サミットへの参加用意があるとの発言を得た。
2. 消息筋によれば、現在までに12名のアラブ指導者がバグダード・サミットへの参加に合意し、その参加数は最終的に15名以上に及ぶことになるかもしれないが、参加する指導者や国王の名前の公表は拒否されている。
3. タラバーニー大統領は、ムバーラク・エジプト大統領（ナズィーフ同首相、アブルゲイト外相同席）、ブーテフリカ・アルジェリア大統領、バシール・スーダン大統領、サーレハ・イエメン大統領、ハマド・カタール首長と第2回アラブ経済開発サミットの合間に会談し、オトリー・シリア首相、ファイヤード・パレスチナ自治政府首相、ハーリド・バハレーン外相とシャルム・エル・シェイクの宿泊先にて会談し、二国間関係およびアラブ・サミットに関わる作業について協議した。
4. タラバーニー大統領は、サウード・サウジ外相とも会談を行った。同外相は、サウジ政府がアラブ・サミットに可能な限りハイレベルにて参加する意欲を有しており、その参加は、同サミットの成功およびアラブの共通活動に資すると述べた。